

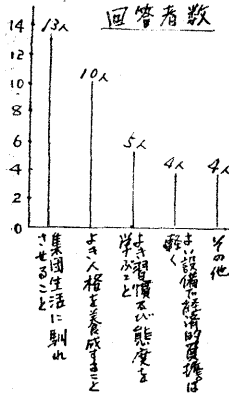
幼稚園に希望すること

——新入園児の家庭から——

アンケート

幼児を持つ家庭では、幼稚園に対して何を一番希望するかを知るために、今度新たに幼稚園に入園する幼児の家庭に左の問を提出してみました。

「あなたは幼稚園に対して何を希望しますか
一番希望する事柄を一つだけ書いて下さい」
この間に対し、東京都内公私立十幼稚園から百九十五名の中三十六名の回答者を得まし



た。回答者の数が少ないので、数字的に、はつきりとした事は言えませんが、幼児を持つ家庭の幼稚園に対する希望が、何であるかという事は、大体分ると思えます。先生方の御参考に、その希望する

問題を次の様にまとめました。

集団生活に馴れさせる事——この希望が最も多く、子供達が「集団生活に馴れて協調性を養い、更に積極的に正しい主張が出来る様に（国家公務員）」と希望しております。又、一人っ子を持つ家庭では「一人っ子なので、どうしても自己本位に行動しやすいため、幼稚園で集団生活に必要な協同性を子供の心に植えつけて戴きたい（麻雀倶楽部）」と希望しております。又、「集団生活に於ける子供の欠点の矯正（酒類商）」を希望するものも二三みられました。

よき人格を養成する事——「慈悲心ある円満なる人格を養成していただきたいと思えます。（会社員）」「明暗なき個性、善悪の判断

共同精神、自己の信念、を望みます。」「子供らしさを失う事のない様……（高校教諭）」等の希望がありました。最近の幼児教育を批判して次の様な希望がありました。注目をすると思われ。」「……近時、往々にして幼児の天才教育とか、年令不相応のませた教育をされるのに対し、父兄として、非常に反感と嫌悪を感じて居ります。子供には、子供本来の姿のままのんびりとさせて頂きたいものです。……」

よき習慣及び態度を学ぶ事——この問題に關しては、「衛生の躰を希望（教員）」「礼儀言葉使いを正しく教えて頂き度い（公吏）」「穏やかに成りますように（工員）」等々、家庭だけでは出来きれない子供の習慣やよい態度の形成を幼稚園に期待しているものも様でした。

よい設備で、経済的負担は軽く——「入園費は安くしてほしい。又施設は一定の規則を文部省が設けてその規則に合った校庭或いは遊具を具え……（旅館業）」等の希望がありました。又これに關連して「幼稚園の時間を成るべく長くするように（商業）」との希望もあり、（27頁に続く）

には寧ろふだん弱いものいじめや告げ口などが多くて問題があると思わせるような子供が含まれています。目上の人のすることなら不当な取扱いを甘受する「たち」がどういふ人柄を形造るかわかりませんが、アメリカで行なわれた同種の実験の結果に比べると、どうも一般に日本の子供の方が陰性な反応が多いようです。正当な発散をさまたげられた怒りは、それならどうなつて行くのでしょうか。それとも怒りがもとと生れてこないこともあるのでしょうか。そんな事を考えて、今度、一つ怒るうらにも怒る相手がないようにしてみようと思ひました。その為には、やはり面白い玩具で夢中になつて遊んでいる時ちよつと室外に呼んでその際に天井裏から網を下して玩具を手の届かない処に吊上げてしまひます。この方法は子供がすぐにからくりを見破るだらうと思つてあまり期必してはなかつたのですが、驚いたことに一人として、外に出ている間に大人が何かやつたと考えた者はいませんでした。大抗の子供が「おや？」というようにまわりを探し、その玩具が天井に上つているのを見つけると先ず大笑いを始めます。この実験では2人宛組にしてやりまし

たので、2人が顔を見合せて笑つたり不思議がつたりします。汽車がスーツと壁を走つてあそこまで上つて行つちやたんだらうか」とか、「お人形ちゃん、下りていらつしやいよ」と呼びかけたりして、段々焦々して来たり、大人にとつてよとねだり出したりします。それでも知らん顔していると地団駄ふんだり、身体を揺つたりしますが、りという形にはならないのです。こうして「怒る相手が無い場合の反応」に何が出るかと、期待していると思ひがけない結果に立ち到りました。とうとう怒る相手をつくつてしまつたのです。「誰がやつたんだらう」「神様かも知れないよ」「そうだ神様だ」だんだん声が大きくなつて「神様つていやだなあ」「神様のバカヤロー」「神様のバカヤロー」これで幾分気がすんだのでしようか、二人は諦めて別の遊びにとりかかりました。

こういう風に、何かに転嫁してでも不満のはけ口を求めようとする傾向が認められる以上、それが表出されず、又別の代償の犠牲も講じられずにわだかまつている事は、心にもからだにも有害だと思われれます。怒りたくなる場面では、怒りを表出してしまふ子が、後

でさつぱりとしていたり、当然腹の立つような場面で、いやに素直に云う事をきいたりする子が、いちいち実験者の顔色を見て警戒的に行動していたりするのに気が付きました。所謂よい子として通つている子供に、大人の目にうつりのよい様に仕立てられ、無理をしている子供があること、こうして抑えられた不満は、何時か、もつと正常でない形で、曲げられて現われはしないかと案じられ、子供の行動を、一人々々の自然の要求に基いてよく理解しなくてはならないと痛感しております。

(東京女子大講師)

(16頁より)「経済的負担が重過ぎる、にもかかわらず、一日の幼稚園に行く時間が短か過ぎる。この様な事では何故に幼稚園へ行くのかわからない」との意見は、親の幼稚園に対する希望と、幼稚園の立場との相違が感じられました。

その他「父親、母親に対する教育と申しますか指導をお願い致したいのです……(会社員)」「わけへだてのない様にお願ひいたします」等の希望がありました。

(お茶の水女子大学、児童学科、
幼児教育研究会)